

青森商工会議所 経営支援課 主幹 村田 麻奈美

青森県商工会議所連合会では、次世代を担う高校生に国際的な視野を養い、エネルギー事情への理解を深めてもらうことを目的として、「高校生による海外エネルギー事情研修会」を開催しております。第28回となる今回は、青森県内の高校2年生6名（男子2名、女子4名）が参加し、令和8年1月26日から12日間の日程でフランスおよびスウェーデンを訪問いたしました。

本研修に先立ち、2度の事前研修会を開催し、世界および日本のエネルギー情勢、再生可能エネルギーの課題、原子力発電所の基礎知識、さらに東日本大震災が日本の原子力発電所に与えた影響などについて学びました。また、東通原子力発電所や六ヶ所村の原子燃料サイクル施設を見学し、本県の原子力発電所の稼働に向けた計画や安全対策について理解を深めました。

意見発表の準備では、海外の高校生に向けて日本のエネルギー政策の現状や、自身が考える望ましいエネルギー供給の在り方を伝えるため、資料構成やプレゼンテーション内容のブラッシュアップを重ねました。その過程で、日本のエネルギー政策が地理的要因や気候条件、さらには歴史的背景や心理的要因の影響を受けていることへの理解が深まり、生徒一人ひとりが将来のエネルギー供給の理想像を明確に描いていく姿が印象的でした。

訪問先のフランスおよびスウェーデンでは、原子力関連施設の見学を通して、安全対策や放射性廃棄物の再処理・地層処分の取り組み、さらには原子力施設の稼働に対する国民との信頼関係構築の在り方など、日本との相違点を学びました。また、現地高校への訪問で生徒たちは、エネルギーの安定供給に向けた意見発表や現地高校生との活発な議論を行い、将来のエネルギー政策を選択していく主体が自分たち自身であること、そしてその選択肢が多様に存在していることを強く認識しました。

本研修会を通じて、生徒たちは「自国を理解すること」「自らの意見を持ち、積極的に発信すること」「多様な価値観を尊重すること」の大切さを体験的に学ぶとともに、現地の高校生との友情を育むことができました。

この研修会を新たな出発点として、生徒たちが本研修で得た学びと経験を糧に、広い視野と主体性をもってそれぞれの進路を切り拓いていくことを期待しております。

最後に、本研修会を無事に終えることができましたのは、フランスおよびスウェーデン両国の関係者の皆さまをはじめ、ご支援・ご協力を賜りましたすべての皆さまのご尽力の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。

第28回高校生による海外エネルギー事情研修会団長
青森商工会議所 中小企業振興部 経営支援課 主幹
村田 麻奈美